

# 絆 図書館ボランティアだより

第4号

きずな

2009年5月号 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行

## 「阪南市子ども読書活動推進計画」と その「要約版」ができあがりました！！

子どもの読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくために、欠くことのできないものであると「子どもの読書活動の推進に関する法律」でうたわれ、これを進めるための計画が各市町村でつくられています。

今回、阪南市では子どもの健やかな成長を願って、“生きる力を育む読書活動”を積極的に支援する計画が策定されました。この計画を進めるには、子どもを取り巻く大人が“読書に対する意識を高める”ことが大切だと思っています。活字離れ、読書離れと言われて、どれ位経つでしょうか…。まず、私たち大人が本を楽しむ姿を子どもたちに見せることから始めませんか！そして一冊の本を子どもと共に楽しみ、その思いを共有することで人とひとの心がつながります。子どもたちが本を楽しみながら生きる力を身につけるために、どうかあなたも“子どもと本の橋渡し役”になってください！！

(釣船廣子)



### 23日は「家庭読書の日」

カラフルなカード、カウンターでご覧になりました？

「阪南市子ども読書活動推進計画」に基づき毎月23日が「家庭読書の日」となり、「23日に本読んだよ」という人にカウンターでスタンプをおす、という企画が始まりました。さっそく取り組みをはじめ、わざわざカードを作成・配布して保護者にお知らせするという熱心な園や学校も出始めました。また、「23日は“家庭読書の日”だって」と世間話してたよ、と図書館に教えてくれた人もあり、学校からの「としょかんだより」に載っていたらしいとのことでした。ゆったりと本を楽しめる生活を、あなたはしていらっしゃいますか？

# 図書館を利用しての感想コーナー

## サポーターとして

今年で阪南市在住34年になりました。数年前に永いサラリーマン生活を終えて「毎日が日曜日」となり、好きな時に図書館を利用できるようになりました。家から図書館まで往復約4km程の道のりですが、健康維持をかねてウォーキングや自転車でのんびりと週1回以上は通っています。利用目的は主に好みの本を借りて読んで楽しむ事ですが、資料の調査や自己研鑽にも大いに活用しています。在職中は手につかなかった自家のルーツの調査に、「群書類従」や「系図総覧」他多くの資料を参考にし家系図の作成にチャレンジしました。また、退職後パソコンを独習しましたが、初心者向きの本も沢山あり大変参考になりました。阪南市の図書館は近隣のものに比較しても、館内の環境も整備されており、蔵書もジャンル別にかなりのものがそろっていて、市民として誇れる有用な施設、財産だと思っています。図書館ボランティアの方々が陰の力として協力されていることを知り、私も今年から参加しました。図書館は自分の知的財産の書棚として今後も活用したいと思っています。

(T/K生)

## 豊かなひととき

昨年仕事をやめ自由な時間が出来たので、図書館に足を運ぶことが多くなった。今までは時間のスミを埋めるような本の読み方だったが、もつとまとまった物を読もうと思いついた。とはいえ、元来根がミーハーな私はとりあえず、去年は源氏千年ということで話題になった、瀬戸内寂聴さんの「源氏物語」を、今年からは、NHKでドラマ化される司馬遼太郎さんの「坂の上の雲」を読破することにした。両著共競争率が高く、タイミング良く借りるのは高難度だ。さらに来年の大河ドラマは龍馬。これも熾烈な戦いが予想される。

閲覧席でいろんな画家の画集を眺めるのも楽しい。ゴッホ、ゴーギャン、ユトリロ、ワイエス……。それぞれ独特な世界観と豊かな表現、色彩が溢れ、時がたつのも忘れ見入ってしまう。静かで心豊かなひとときだ。次は何を読もう。入口のパソコンで検索してみる。私にとって図書館は知的好奇心を満たしてくれるオゾンたっぷりのオアシスである。

森本めぐみ



## <紹介コーナー>

## ブックスタート

中田葉子さん

「ブックスタート」という言葉をごぞんじでしょうか？1992年に英国・バーミンガムで「絵本を通して赤ちゃんとの温かいふれあいを大切にしてほしい」との願いから始まった運動です。ここ阪南市でも2002年9月からこの運動を取り入れ、保健センターにて4ヶ月検診の折りに2冊の絵本を手渡しています。そのお手伝いをしているのが、私たちブックスタートスタッフです。「4ヶ月の赤ちゃんに絵本？」「わかるの？」

最初の心配をよそに赤ちゃんはじっと見つめ、にっこり。検診で疲れたお母さん方もにっこり。その笑顔にこちらもにっこり。いつも元気をもらっています。本だけでなく、人との出会い、ふれあいを大切にできるボランティアです。楽しいですよ！

# 私のおすすめの一冊

## 大江戸神仙伝

石川英輔著

この本「大江戸神仙伝」は昭和六〇年頃に購入しました。製菓会社を脱サラし、文筆業に転身した主人公が、現在の東京と文政の江戸を自分の意思で自由に往来出来る能力が、ある時から突然備わり、江戸に於いては、脚気で苦しむ人を仙郷の妙薬（糠を煮詰めてビタミンB1を濃縮）で劇的に回復させ、江戸の人々を喜ばせた。

又、東京では江戸から持ち帰った根付けがマニアの人には垂涎の的となり高額で引き取られたりしました。ようするに江戸のものは文化財的価値、東京のものは神からの贈り物的価値として読者に訴えています。現代人の持っている願望や欲望、夢等が描写されている楽しい作品です。

この後大江戸シリーズとして、全部で六冊刊行されています。

大和田裕一

## お金とモノから解放されるイギリスの知恵

現在私達は、しあわせな事に欲しい物が高望みしなければわりと簡単に手に入る社会に生活している。1000円均一でもこんなものでーという便利なものが沢山。

そのおかげなのか何なのか安易に買ったもので、せまい部屋は食事をそこではとれないお家も知っている（我が家ではない）。

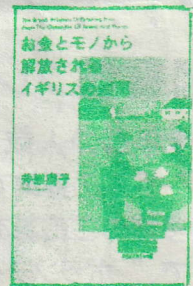
本当に必要なものだけを身の回りにおいて、他は涙をのんで処分しようと決心した次第です。必要でないものが自分だとしたら、ブラックジョークですが・・・

門脇容子

大江戸神仙伝



お金とモノから解放される・・・



睡蓮の池



海の島



## 子どもの本紹介コーナー

「睡蓮の池」「海の島」—ステフィとネッリの物語—  
アニカ・トール著 新宿書房

スウェーデンの児童文学作家アニカ・トールの代表作。全4部作の1、2作目。1939年ウィーンからナチスの迫害をのがれて、500人のユダヤ人の子どもと共にスウェーデンに疎開してきた姉妹の成長の物語。言葉も通じない小島の別々の里親の元で、宗教や習慣の違いにとまどい、いじめにもあいながら、友情に支えられ何とか異文化に順応していく。

心に残ったことは、子どもは子どもなりに孤独や悲しみに耐えながら、遠くの親を思い毎日をお過ごしている。そのことが客観的に抑えた筆致で書かれているので、よけいに胸にせまってくる。

筒井惇美

# 本のリサイクル

古い

図書館でのつとめを終えた本や雑誌をお譲りします。  
みなさまのお家でもう一度お役に立ててください。お待ちしております。

- ① 平成21年 6月 7日 (日)
- ② 平成21年10月17日 (土)
- ③ 平成22年 2月 6日 (土)



時 間 : いずれも午前9時30分～午後3時  
場 所 : サラダホール 2階視聴室  
冊 数 : 本は10冊まで。雑誌は一部を除き無制限  
入場方法 : 図書貸出券をご提示ください。忘れた場合は入場できません。

## 絵本の散歩道



いよいよ始まりました「散歩道」。その名に似つかわしく少人数で本棚の間を散歩しながら、新しく入った本、子どもの喜び読み継がれて来た本、大人がはっとさせられる本などバラエティーに富んだ様々な絵本を紹介しています。  
普段の本棚案内とは異なるのが、単なるストーリー紹介では終わらないところ。作品の背景解説などを含めたより深いレベルでの話が出てくるので、本をはさんでやりとりしながら、大人対大人の心の対話だなあと感じることもしばしばです。  
これからも”ぶらっと”感覚でいらしてくださいといいなあとと思っています。



## 図書館フレンズ

### 今年度の人数

今年の募集で、34名もの新規の応募があり、継続の方40名とで74名になりました。多数のご応募ありがとうございました。図書館フレンズは毎年3月に募集いたしますので、”ボランティアしてみようかな”とお考えの方は、来年3月にお申込み下さい。

### 2008年度活動日数集計表

図書館フレンズの2008年度の集計ができました！（詳細は下表をご覧ください）

延べ人数の総計が1,540名と言う多数のご協力をいただきました。阪南市立図書館はこのようにボランティアでお手伝いくださるたくさんの方々に支えられています。ご協力くださった図書館フレンズの皆様、ほんとうにありがとうございました。今年もよろしくお願いいたします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年度	総計
朝の配架	65名	58名	58名	54名	63名	45名	52名	39名	44名	38名	25名	43名	584名	2003年度	155名
月末整理日	10名	10名	10名	8名	8名	9名	6名	10名	7名	10名	17名	15名	120名	2004年度	682名
配架人数計	75名	68名	68名	62名	71名	54名	58名	49名	51名	48名	42名	58名	704名	2005年度	652名
書庫入れ作業	30名	26名	28名	26名	22名	20名	20名	19名	20名	16名	14名	24名	265名	2006年度	1000名
修理・装備人数計	33名	28名	34名	33名	30名	37名	24名	26名	33名	27名	22名	34名	361名	2007年度	1369名
修理冊数	195冊	298冊	332冊	368冊	364冊	273冊	305冊	269冊	254冊	223冊	147冊	194冊	3583冊	2008年度	1540名
本の清拭冊数	398冊	155冊	184冊	842冊	285冊	999冊	647冊	324冊	474冊	263冊	302冊	444冊	5317冊		
館内装飾人数計	3名	3名	4名	0名	2名	5名	8名	0名	4名	4名	1名	0名	34名		
リサイクル人数計	14名	22名	6名	6名	27名	4名	6名	23名	4名	12名	38名	2名	164名		
広報人数計						6名					6名		12名		
総 計	155名	147名	140名	127名	152名	126名	116名	117名	112名	107名	123名	118名	1540名		

2008年度 総計(延べ人数) 1540名